

様式

特別支援学校埼玉一学園の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	視覚障害	学部・学科	幼稚部・小学部・中学部 高等部普通科・高等部専攻科	児童生徒数	(男)79 (女)38	計117
ホームページ	http://www.mo-sb.spec.ed.jp/					
アクセス	JR川越線 笠幡駅下車 徒歩20分					
教育課程等の特徴	視覚に障害のある幼児児童生徒のための学校で、点字や拡大文字などを使って、それぞれ幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行っています。 視覚障害に加えて他の障害のある幼児児童生徒に対しては、発達段階に応じた教育を行っています。					
特色ある学校行事や部活動	学校行事	体育祭	幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科の合同体育祭です。	霜月祭(文化祭)	ステージ発表、展示、模擬店などの全学部合同文化祭です。	寄宿舎夏祭り・餅つき大会 地元自治会とタイアップした寄宿舎の行事です。
	部活動	陸上競技部	全国障害者スポーツ大会毎年度出場	球技部	平成29年度全国盲学校フロアバレーボール大会優勝	
家庭・地域との連携	体育祭、霜月祭(文化祭)、マラソン大会等の学校行事における保護者のバックアップ 地域に開かれた専攻科のマッサージ等治療室(地域に開かれた学校) 地元自治会と連携した「夏祭り」「餅つき大会」の開催 PTAが主催する「点字ブロック理解推進キャンペーン」開催(JR東日本との連携) 「電車」「ホーム利用」「ホーム下避難場所」の体験学習の開催(西武鉄道との連携)					
進路について	高等部普通科	主な進路先	大学、国立障害者リハビリテーションセンター、筑波技術大学(視覚・聴覚障害のある方が学ぶ国立大学)	就職(一般企業等)	福祉サービス事業所、高等部専攻科	
	高等部専攻科	国家資格取得者	合格者多数	主な進路先	就職(一般企業、病院、治療院、施設、自営開業等)	

(児童生徒数：H30.5.1 現在、進路は H30.3 卒業生の状況)

本校の魅力！

視覚障害のある幼児児童生徒が学ぶことができる埼玉県内唯一の特別支援学校です。
幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科(中学部卒業生徒)・高等部専攻科(高等部卒業生徒)の課程を設置する、幼児から成人が学ぶことができる特別支援学校です。
国家資格(あん摩マッサージ指圧師、はり師、灸師)全員合格を目指す、高等部専攻科があります。
通学の負担軽減と自立した社会生活を目指す寄宿舎が設置されています。

《霜月祭・ステージ発表》



《自立活動・歩行指導》



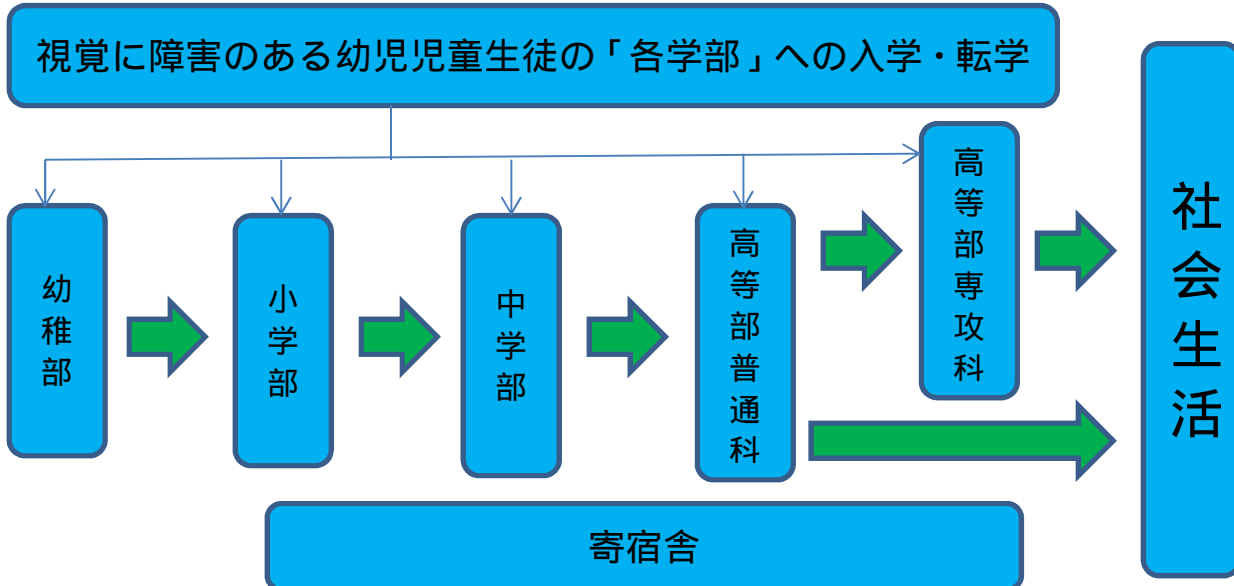
《マッサージ》



2 育成方針（児童生徒の成長物語）



特別支援学校埴保己一学園 視覚障害に応じた特別な支援を行う学校



本校では、自立した社会人を目指し、幼稚園、小学部、中学部、高等部普通科、高等部専攻科が設置されており、視覚障害のある（あるいは他の障害もある）幼児から成人まで学ぶことができる特別支援学校です。

視覚障害に応じた特別な指導として、幼児児童生徒一人ひとりの自立を目指し、障害に基づく様々な困難を改善・克服するために必要な知識や技能を学ぶ「自立活動」を行っています。主に、感覚を活用して、自分で予測、確かめていく習慣を大事に、生活動作や歩行、移動、点字、視覚補助具や機器の利用等の学習を行っています。次に、各学部等の教育を紹介します。

（1）幼稚園の教育

幼稚園では、3才以上のお子さんに、遊びや日常生活を通して、食事、衣服の着脱、排泄などの基本的な生活習慣を身につける保育を行っています。

（2）小学部の教育

小学部では、小学校の教育に準ずる教育等を行っています。児童一人ひとりの障害や学習課題に合わせて、個別や集団での学習を行っています。《体育祭ダンス》



（3）中学部の教育

中学部では、中学校の教育に準ずる教育等を行っています。生徒一人ひとりの課題に応じた学習グループを編成し、きめ細やかな指導を行っています。

（4）高等部普通科の教育

高等部普通科では、高等学校（普通科）の教育に準ずる教育等を行っています。生徒一人ひとりの障害の特性に応じたグループ編成による一人ひとりを大切にする教育を行っています。

（5）高等部専攻科の教育

高等部専攻科では、職業的な自立を目指して、現代医学や東洋医学の基礎知識、あん摩・マッサージ・指圧、はり、きゅうの基本的技術、技能を系統的な学習を行っています。

（6）寄宿舎

寄宿舎では、生活のリズムや身辺自立の力、友達と関わる力、自分の手で生活を築く力を育てるようにしています。